

### 外部環境の変化

- 自動車産業の変革（電動車の世界的普及、生産方式の革新（ギガキャスト、自走組立ライン）、SDV(Software Defined Vehicle)による付加価値の源泉の変化、米インフレ抑制法（IRA）はじめ BEV 関連部品調達の規制など）
- 人口減少の本格化と縮小社会の確実な到来（出生数 80 万人割れ）
- 資源・エネルギー問題の深刻化（価格高騰と調達難、経済安全保障の顕在化）
- 新しい資本主義への取組（ESG 投資など）
- 脱炭素経営への要請
- 個社単位ではないサプライチェーン全体での CN の達成（scope3）
- 生成 AI、メタバース、次世代通信規格（IWON）等の新しい情報通信技術
- 人生 100 年時代における豊かさの再定義（ウェルビーイングの実現）
- 多様な働き方、キャリアパスの定着（オンライン、副業、リスクリングなど）
- 企業の高齢化と技術承継への懸念
- 消費リーダーとしての Z 世代の台頭（モノからコトへ）
- 国によるスタートアップ育成 5 か年計画
- 社会情勢などによるサプライチェーンの寸断リスク（物流の 2024 年問題など）

### 産業分野における豊田市の現状

企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製造技術力が高い、品質が良い、短納期（ものづくり産業実態調査）</li> <li>●自動車関連産業を中心とした全国一の製造品出荷額等 ⇒異業種等との連携意向が低い（ものづくり産業実態調査）</li> <li>●低い廃業率（経済センサス）</li> <li>●BEV 普及に伴う売上高予想が難しい（ものづくり産業実態調査）</li> <li>●デジタル化取組の普及率が低い（ものづくり産業実態調査）</li> <li>●CN 取組の普及率が低い（ものづくり産業実態調査）</li> <li>●人材確保・育成への苦戦（ものづくり産業実態調査）</li> <li>●ベンチャー企業/スタートアップとの連携意識が低い（ものづくり産業実態調査）</li> </ul>
雇用 ・ 人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ものづくり人材が集積（豊田市の工業）</li> <li>●給与水準の高さを含めた雇用環境が魅力的</li> <li>●従業員の高齢化が加速</li> <li>●女性の労働力率が低い（国勢調査）</li> <li>●男性中心の雇用（国勢調査、豊田市の工業）</li> <li>●障がい者雇用率が低い（県全体と全国との比較／障害者雇用の状況）</li> </ul>
事業 環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●有力な自動車関連企業が集積 ⇔ 自動車関連事業への高依存（豊田市の工業）</li> <li>●高速道路等のインターチェンジ数が多い</li> <li>●産業用地需要に対し供給不足（ものづくり産業実態調査、進出意向調査）</li> <li>●CN に関連する各種取組（CN 関連補助金、脱炭素スクール、SDGs 認証制度等）</li> <li>●官民連携の取組（DX 推進プラットフォーム、つながる社会実証推進協議会）</li> </ul>